

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 数学が社会の中でいかに用いられているかについて理解し、数学を学ぶ必要性や学び方を理解したり、学ぶことの楽しさを実感したりする。</p> <p>★これから学ぶ数学について理解しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ P.1～P.2の「教科書の構成と使い方」を見て、これからの学習の仕方や教科書の使い方について知る。 ○ 第1学年の学習内容のあらましを知り、学習の見通しをもつ。 ○ 表紙裏にある「ICTの活用でひろがる数学の学習」を基に、ICTをより効率よく活用する方法を理解する。 ○ P.248～P.253の「学びをふりかえろう」に取り組み、定着度を自己評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目次を基に、小学校算数科とのつながりについて簡単に触れる。 ・ 2次元コードの使い方についても触れ、ICTの活用方法を説明する。 <p>【評】既習の問題を解く活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

日常生活や社会で数学が用いられていることや数学の歴史・発見物語・エピソードなど、興味・関心をひく話題を提示し、数学を学習することの意義や必要性を実感させ、学習意欲を高めるための工夫としたい。

また、小学校での学習の仕方を振り返らせ、中学校での授業の進め方、ノートの取り方なども指導するように心がけたい。そして、これまでの学習について振り返り、数学のもつ楽しさや数学を学習することのよさを味わわせ、積極的に学習に取り組もうとする意欲をもたせたい。

さらには、数学をより能率的に学べるように考える位置付けとしたい。

なお、学び方については、内容が抽象的にならないように要点を押さえて具体的に話をするのが大切である。